

私の好きな場所

アクシスコンサルティング社長
山尾 幸弘
Yamao Yukihiko



新しい人材ビジネスを始めた場所——。それが東京・麹町でした。私は大学を卒業し、サラリーマンとして味の素ゼネラルフーズに入社しました。しかしながら、入社1年目にして生意気にも独立を考えていたのです。「サラリーマンで一生終わる気はない」

実は、大学時代から演出家や脚本家を目指して劇団などに入り続けていたこともあり、何か新しいものを創造・創出することに興味を持っていました。しかし、一介のサラリーマンでは、そういった夢を叶えることは難しいと思っていました。そこで30歳を1つの転機にし

ようと心に決め、人材紹介業界の大手に転職します。その頃から独立を視野に入れていたのですが、人材という「人に焦点を当てた仕事」に面白さを感じていました。人を観察することが好きな性分だからです。

企業にとって継続・永続は使命です。そのためには適正な利益が求められます。だからこそ、能力に見合った人材が適切に配置されているのか、企業にとって利益をもたらしてくれる人材が揃っているのが重要です。

陰ながらお客様である企業の成長を実現する一翼を担う、まさに黒子の仕事に充実とやり甲斐を感じるようになったのです。そして、2002年7月、東京・九段下で当社を設立しました。当時はジャスダック上場のIT企業のグループ会社でしたので、08年のMBOをして独立しました。このときは水道橋にオフィスがありました。

麹町に移転したのは13年のこと。ハイエンドな人材の紹介を得意とする当社のコンサルタン

トがじっくり話を聞ける場所として静かで閑静な麹町はしつくりきます。土系のビジネスを手掛ける企業も多く、渋谷や六本木などが「華の街」としたら、麹町はまさに「黒子の街」と言えるのではないのでしょうか。

考えてみると、お芝居が好きな私は役者になりました。役者を陰で支える演出家や脚本家に憧れを感じていました。今の仕事も黒子です。ですから、私はこの場所が気に入ったのかもしれない。自分がスポットライトを浴びる必要はありません。それは儲

東京・麹町



麹町は渋谷や六本木に比べて地味だが、企業の成長を支える会社が多い

けることだけを意識した経営者が長続きしないことから分かります。この場所で自分の気持ちと会社の使命を忘れないことが重要であると感じています。